

●路面電車のループ化と新型低床車両のデザインについて

札幌市では、路面電車の既存路線のループ化についての具体的な検討を進めてきたところですが、このたび、ループ化整備の方向性についての考え方をまとめるとともに、新たに導入する低床車両のデザインを決定しました。

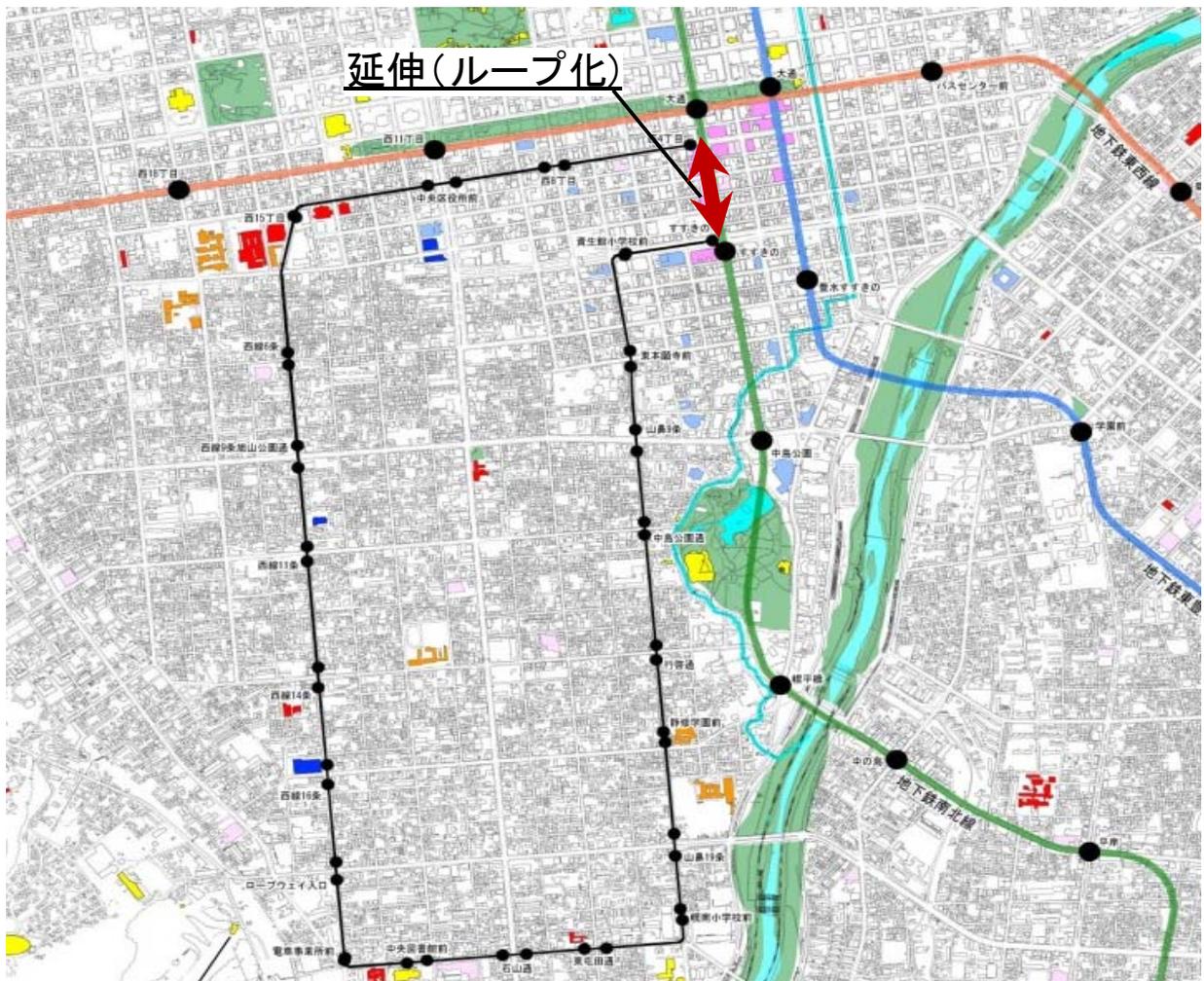
また、今年度末までには、ループ化の整備内容や路面電車事業の経営効率化などの基本的な考え方について、「札幌市路面電車活用計画」としてまとめる予定です。

今後は、この計画に基づき、平成 26 年度中のループ化実現に向け、より具体的な検討を進めていきます。

1 ループ化整備の基本的な考え方

「西 4 丁目停留場」と「すすきの停留場」を都心の「にぎわいの軸」である札幌駅前通で結び、路線のループ化を目指します。

この札幌駅前通の区間については、電車が歩道側を走るサイドリザベーション方式を導入し、歩道から乗車できるようにするとともに、狸小路付近への停留場の新設を検討しています。



2 新型低床車両の導入

新たに導入する低床車両は、市民から寄せられたアイデアを参考に、デザインの専門家の方々による検討を重ねた結果、札幌の先進性や透明感のある気候風土をイメージしたシャープなデザインに決定しました。

車両は、平成 24 年度に 1 両製造し、平成 25 年春から運行を開始する予定です。



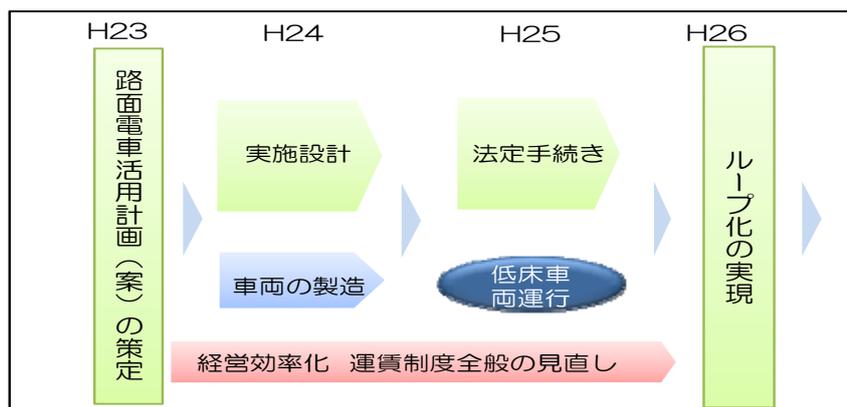
3 想定スケジュール

平成 23 年度：札幌市路面電車活用計画の策定

平成 24 年度：ループ化に向けた実施設計、低床車両の製造(1 両)

平成 25 年度：ループ化に向けた法定手続き、低床車両の運行開始

平成 26 年度：ループ化の実現



問い合わせ先

市民まちづくり局総合交通計画部都市交通課（路面電車活用担当） 佐々木・櫻井

電話：211-2492